

# 第 9 回 通常 総 会

1 9 9 4 年 6 月 2 2 日 (水)

社団法人 人工知能学会

JAPANESE SOCIETY FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE

---



〒162 東京都新宿区津久戸町4-7

OSビル402号室

TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402

# 第9回通常総会次第

日 時 1994年6月22日(水) 12時40分～13時10分

場 所 早稲田大学国際会議場(東京・西早稲田)  
〒169 東京都新宿区西早稲田1-6-1 TEL. 03-3203-4141 (代)

- 総会次第
1. 開 会
  2. 会長挨拶
  3. 議長選出
  4. 1993年度事業報告
  5. 個人会員の除名処分
  6. 1993年度決算報告、監査報告
  7. 1994年度事業計画
  8. 1994年度予算
  9. 名誉会員の推薦
  10. 1994年度役員構成
  11. 1994年度評議員構成
  12. 新会長挨拶
  13. 閉 会

以 上

# 1993年度事業報告

## 1. 概 要

昨年度に引き続き、理事会および各委員会を中心に学会の基盤強化を進めるとともに、第7回全国大会の開催、会誌の隔月発行、研究会活動に重点を置き、学会活動の活発化、会員サービスの充実をはかった。

7月26日から4日間にわたり中央大学で開催した第7回全国大会は、論文発表189件、ミンスキー博士(MIT)の招待講演などで、盛会裡に終わった。

会誌発行は、編集委員会の長期的な企画と周到な準備のもとに、各号論文特集、技術特集、解説連載、AIマップなどのほか、引続き好調な投稿論文の掲載で会誌の充実をはかった。

研究会活動は、本年度から第2種としてスタートした「並列人工知能」研究会を加えた6研究会で、他学会研究会との共催を含め計20回の研究会および合同研究会「AIシンポジウム'93」を開催、研究発表計131件、チュートリアル講演6件、パネル討論2回、ディスカッション1回が行われた。

セミナーは東京、名古屋で計4回開催のほか、関西特別シンポジウムを大阪で開催、いずれも好評であった。

IJCAI'97の1997年日本開催へ向けて本委員会がスタート、またエルゼビア社刊JAI (Journal of Artificial Intelligence) 誌特集号掲載の会誌論文選考が進められるなど、海外との連携活動も活発化した。

## 2. 会員現況 (1994年3月31日現在)

正会員	3,712名
学生会員	456名
名誉会員	4名
賛助会員	120社
特殊購読会員	104団体

## 3. 会誌の発行

### ◇第8巻第3号 (通巻39号)

・巻頭言、小特集「数理計画法と人工知能技術の融合」解説3編、小特集「大規模知識ベース」解説2編、一般解説1編、連載「計画問題と人工知能」第3回1編、論文6編、その他で構成

### ◇第8巻第4号 (通巻40号)

・巻頭言、一般解説1編、連載「計画問題と人工知能」第4回1編、AIマップ1編、論文特集「ALT'92」3編、論文8編、その他で構成

### ◇第8巻第5号 (通巻41号)

・巻頭言、一般解説1編、AIマップ1編、特集「発想支援システム」解説3編、論文特集「発想支援システム」5編、論文5編、その他で構成

### ◇第8巻第6号 (通巻42号)

・巻頭言、特集「コミュニケーションと人工知能」解説8編、一般解説2編、AIマップ1編、論文8編、その他で構成

### ◇第9巻第1号 (通巻43号)

・巻頭言、特集「知識の共有と再利用」解説6編、一般解説3編、AIマップ2編、論文8編、その他で構成

◇第9巻第2号(通巻44号)

- ・巻頭言、特集「図による推論」解説6編、一般解説2編、AIマップ1編、論文7編、ショートノート1編、技術資料1編、その他で構成

4. 1993年度全国大会(第7回)の開催

チュートリアルを3トラック構成で第1日に集中し、期間4日間として第7回全国大会を開催した。

◇日時 1993年7月26日(月)～29日(木)

◇場所 中央大学後楽園キャンパス・理工学部校舎5号館(東京・後楽園)

◇プログラム構成

- ・特別講演 「第5世代プロジェクトは何故成功したか」  
 洲 一博(東京大学)
  - ・招待講演 「Why we need a large common-sense knowledge base」  
 Prof. Marvin Minsky (The Media Lab., MIT)
  - ・パネルディスカッション  
 「スケジューリング技術:ORが有効か? AIが有効か?」  
 司 会 玉井 哲雄氏(筑波大学)  
 パネリスト 久保 幹雄氏(東京商船大学)  
 玉置 久氏(京都大学)  
 沼尾 雅之氏(日本IBM)  
 丸山 文宏氏(富士通研究所)
  - ・研究会企画による特別セッション  
 「音声対話処理技術の最近の研究動向」<言語・音声理解と対話処理研究会>  
 「知的教育システムのあり方と将来展望」<知的教育システム研究会>  
 「実マシン上での並列人工知能」<並列人工知能研究会>
  - ・一般講演 発表論文189編
  - ・参加者 746名(内非会員54名、学生132名/論文集購入を含む)
  - ・優秀論文表彰 優秀論文 4編
  - ・チュートリアル講演  
 <Track A: AI技術の産業応用>  
 「運航乗務員乗務割作成支援システム」 森 彪氏(日航情報開発)  
 「ニューラルネットワークの家電への応用」 中 基孫氏(松下技研)  
 「帰納的学習を応用したクレジット入会審査システム」  
 藤田 正幸氏(三菱総合研究所)  
 <Track B: AIの新潮流>  
 「カオス応用の現状・課題」 徳永 隆治氏(筑波大学)  
 「人工生命の春」 星野 力氏(筑波大学)  
 「バーチャル・リアリティ技術の現実と未来」 廣瀬 通孝氏(東京大学)  
 <Track C: AIのさまざまな話題から>  
 「遺伝的アルゴリズムの基礎と応用」 小林 重信氏(東京工業大学)  
 「大規模データベースにおける知識獲得」 西尾章治郎氏(大阪大学)  
 「実世界で行動する知能に向けて」 國吉 康夫氏  
 (電子技術総合研究所)
- 参加者 287名(内非会員9名、学生16名)

5. シンポジウム/ワークショップの開催

◇第11回設計シンポジウム

期 日 1993年6月14日(月)・15日(火)

場 所 電気通信大学第一会議室(東京・調布)

共 催 (社)精密工学会、(社)日本機械学会<幹事学会>、日本設計工学会

構 成 特別講演1件、一般講演20件

参加者 61名

◇関西特別シンポジウム

期 日 1993年10月13日(水) 10時~17時15分  
 場 所 日本ユニシス(株)大阪教育センター・741号室(大阪・堂島/新ダイビル7F)  
 テーマ 人間と機械のためのメディアテクノロジー  
 構成 講演4件、パネルディスカッション5名  
 参加者 57名

◇計算論的学習理論ワークショップALT'93

期 日 1993年11月8日(月)~10日(水)  
 場 所 電気通信大学西9号館AVホール<3F>(東京・調布)  
 協 賛 (社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、  
 日本認知科学会、(社)計測自動制御学会、日本神経回路学会、  
 構成 招待講演3件、一般講演29件  
 参加者 108名

◇マシン・インテリジェンスに関する国際ワークショップMI1993

期 日 1993年11月11日(木)~13日(土)  
 場 所 (株)日立製作所基礎研究所(埼玉・鳩山町)  
 共 催 Turing Institute  
 後 援 Daiwa Foundation  
 構成 講演18件  
 参加者 33名(日本20、イギリス6、カナダ2、オーストラリア2、アメリカ1、ドイツ1、インド1)

◇日韓合同エキスパートシステム国際会議JKJCES'94

期 日 1994年3月22日(火)~24日(木)  
 場 所 アルカディア市ヶ谷私学会館(東京・市ヶ谷)  
 協 賛 Korean Expert Systems Society, The World Congress on Expert Systems  
 構成 招待講演1件、チュートリアル講演3件、一般講演64件  
 参加者 95名

6. 研究会の開催

「人工知能基礎論」、「ヒューマンインタフェースと認知モデル」、「知識ベースシステム」、「言語・音声理解と対話処理」、「知的教育システム」の5研究会および、本年度から第2種としてスタートした「並列人工知能」研究会を併せて6研究会が、他学会との共催を含めて計20回の研究会を開催、そのほか12月に6研究会合同で、講演、パネル討論、合同研究発表のプログラムによる「AIシンポジウム'93(第4回)」を開催した。

◇人工知能基礎論研究会

・第16回

日 時 1993年6月11日(金) 12時40分~17時  
 場 所 群馬大学工学部・第1会議室(群馬・桐生)  
 内 容 研究発表6件/参加者13名

・第17回

日 時 1993年10月15日(金) 10時30分~16時  
 場 所 (株)日立製作所基礎研究所(埼玉・鳩山町)  
 内 容 研究発表6件/参加者13名

・第18回

日 時 1994年3月4日(金) 10時10分~17時  
 場 所 奈良先端科学技術大学院大学中講義室(奈良・生駒)  
 内 容 研究発表6件/参加者26名

◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会

・第19回

日 時 1993年5月21日(金) 10時30分~16時  
 場 所 国際電気通信基礎技術研究所<(株)ATR>(京都・精華町)  
 内 容 研究発表6件/参加者22名

・第20回<共催：第6回IES研究会>

日 時 1993年10月8日(金) 13時~17時  
場 所 電気通信大学天気通信学部西9号館115号室(東京・調布)  
内 容 研究発表5件/参加者31名

・第21回

日 時 1994年2月3日(木) 13時~17時  
場 所 東京大学生産技術研究所・第3輪講室(東京・乃木坂)  
内 容 研究発表5件/参加者21名

◇知識ベースシステム研究会

・第24回

日 時 1993年4月22日(木) 13時10分~16時40分  
場 所 日本電気(株)本社ビル2階会議室<242号>(東京・三田)  
内 容 研究発表5件/参加者10名

・第25回

日 時 1993年6月9日(水) 10時30分~15時45分  
場 所 大阪大学産業科学研究所・管理棟2会議室(大阪・吹田)  
内 容 研究発表5件/参加者23名

・第26回

日 時 1993年10月21日(木) 10時10分~17時20分  
22日(金) 10時10分~17時  
場 所 三田出版会ホール(東京・本郷/お茶の水センタービル8F)  
内 容 研究発表11件/パネルディスカッション/参加者延べ53名

・第27回

日 時 1994年1月21日(金) 9時45分~17時  
場 所 神戸大学自然科学系図書館4階会議室(神戸・六甲台)  
内 容 研究発表7件/参加者25名

◇言語・音声理解と対話処理研究会研究会

・第5回

日 時 1993年5月28日(金) 10時30分~16時30分  
場 所 電子技術総合研究所会議室(茨城・つくば)  
内 容 研究発表6件/参加者21名

・第6回

日 時 1993年9月30日(金) 9時30分~17時30分  
場 所 東京工業大学国際交流会館・多目的ホール(東京・大岡山)  
内 容 研究発表10件/参加者33名

・第7回

日 時 1994年2月10日(木) 10時30分~17時20分  
場 所 早稲田大学国際会議場(東京・早稲田)  
内 容 研究発表2件・チュートリアル講演3件  
参加者：研究発表44名・チュートリアル講演51名

◇知的教育システム研究会

・第5回

日 時 1993年4月10日(土) 13時~17時20分  
場 所 機械振興会館研修2号室(東京・芝公園町)  
テ ー マ 知的教育支援  
内 容 研究発表8件/参加者29名

・第6回<共催：第20回HICG研究会>

日 時 1993年10月8日(金) 13時~17時  
場 所 電気通信大学天気通信学部西9号館115号室(東京・調布)  
内 容 研究発表5件/参加者31名

・第7回

日 時 1994年3月29日(火) 13時~17時30分  
30日(水) 9時~17時



渡辺 正信氏 (日本電気)  
「シミュレーションと最適化法の組み合わせによる生産スケジューリング・システム  
—鉄鋼業における実践的アプローチについて—」

上野 信行氏 (住友金属工業)  
「エキスパートシステムと数値計画法の融合による接近法」

奈良 宏一氏 (茨城大学)

《パネル討論》

テ — マ  
司 会  
パネリスト

知的スケジューリングシステムの現状と展望

奈良 宏一氏 (茨城大学)

上野 信行氏 (住友金属工業)

小島 昌一氏 (東芝)

渡辺 正信氏 (日本電気)

・参加申込み：102名

◇第23回セミナー

・テ — マ：デザインと知能化技術—インダストリアルデザインの場合—

・日 時：1994年1月26日(水)9時30分～17時

・場 所：日本ユニシス(株)中部支社教育センター(名古屋・伏見)

・協 賛：(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)精密工学会、  
(社)計測自動制御学会、日本色彩学会、(社)日本印刷学会、  
(社)日本インダストリアルデザイナー協会、中部デザイン団体協議会

・プログラム：司 会 輿水 大和氏 (中京大学)

「オリエンテーション—人工知能のデザインへのかかわり—」

福村 晃夫氏 (中京大学)

「総合的<知のプロセス>としてのデザイン」

納所 克志氏 (国際デザインセンター)

「デザインと設計の事例—自動車のデザインについて—」

池田 豊隆氏 (トヨタ自動車)

「デザインと設計の事例—アメリカスカップ艇の設計について—」

久保田 彰氏 (ヤマハ発動機)

「支援知能化技術—AIによる設計・製造—」

加藤 貴司氏

(トヨタ・ソフト・エンジニアリング)

「支援知能化技術—デザイン支援の未来技術—」

山本栄一郎氏 (富士通研究所)

ディスカッションとまとめ

福村 晃夫氏 (中京大学)

・参加申込み：79名

◇第24回セミナー

・テ — マ：大規模知識ベースの実現を目指して—知識の共有・再利用技術を中心として—

・日 時：2月4日(金)9時30分～16時40分

・場 所：日本ユニシス(株)赤坂ビル・セミナールーム(東京・赤坂)

・協 賛：(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)計測自動制御学会

・プログラム：司 会 宇佐見仁英氏 (富士通)

「大規模知識ベースの最近の動向—知の空間を構成する大規模知識ベース—」

横井 俊夫氏 (日本電子化辞書研究所)

「知識の共有と再利用研究の現状と動向」

溝口理一郎氏 (大阪大学)

「知識の共有と再利用のための協調型アーキテクチャー」

西田 豊明氏 (奈良先端科学技術大学院大学)

「再利用可能知識ベース構築の実際とその方法論」

高岡 良行氏 (大阪大学、東光精機)

「再利用可能な知識ベース構築ツール」

宇佐見仁英氏 (富士通)

《パネル討論》

テ — マ  
司 会

知識の共有・再利用は何処まで可能か

溝口理一郎氏 (大阪大学)



大力 修氏 (新日本製鐵)  
 西田 豊明氏 (奈良先端科学技術大学院大学)  
 高岡 良行氏 (東光精機)  
 宇佐見仁英氏 (富士通)

・参加申込み：49名

## 8. ニューズレターの発行

ニューズレターの作成、発行はとりやめたが、学会活動の最新情報を会員に伝達するために、各種パンフレットを3回にわたり配布した。配布したパンフレットは次のとおり。

- ・1993年度全国大会(第7回)開催案内
- ・1994年度全国大会(第8回)論文募集案内
- ・1993年度研究会のお知らせ
- ・1994年度研究会のお知らせ
- ・4月度/6月度/10月度/1月度研究会開催案内
- ・12月度合同研究会“AIシンポジウム'93”開催案内
- ・計算論的学習理論国際ワークショップAL'T'93論文募集/開催案内
- ・知識ベースシステムのための知識獲得国際ワークショップJKAW'93論文募集/開催案内
- ・知識ベースシステムのための知識獲得国際ワークショップJKAW'94論文募集案内
- ・マシン・インテリジェンスに関する国際ワークショップ1993論文募集/開催案内
- ・第11回設計シンポジウム開催案内
- ・関西特別シンポジウム開催案内
- ・第21回/第22回/第23回/第24回人工知能セミナー開催案内
- ・人工知能ハンドブック購読のおすすめ
- ・学会誌などバックナンバー頒布について
- ・入会のお勧め<個人会員/賛助会員/特殊購読会員>

## 9. 表彰

### ◇学会論文賞

論文賞規程、論文賞候補選定細則にもとづき、会誌第8巻1号～第8巻第6号掲載の論文、ショートノートおよび技術資料計46編を対象に、会員による推薦および候補選定委員会の審査を経て、下記の論文2編の著者に論文賞を贈呈した。

- ・「モデルに基づく運転操作プランの生成機構を組み込んだ  
 プラント運転制御用エキスパートシステム」(VOL. 8, NO. 4)  
 鈴木淳三、田岡直樹、小沼千穂、岩政幹人、神谷昭基、河野 毅
- ・「遺伝アルゴリズムを拡張した虫型探索システム」(VOL. 8, NO. 6)  
 伊庭斉志、佐藤泰介

### ◇研究奨励賞

研究奨励賞規程、同細則にもとづき、1992年度の研究発表を対象に、登録会員による推薦および候補選定委員会による審査を経て、下記の7件に研究奨励賞を贈呈した。

- <人工知能基礎論研究会>
  - <SIG-FAI-9201-4>「制約の力学 序説」 橋田浩一
- <ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会>
  - <SIG-HICG-9202-4>「自然言語による画像データベースの対話的検索」 伊東幸宏、中谷広正
- <知識ベースシステム研究会>
  - <SIG-KBS-9202-8>「移動目標探索への知性の導入」 石田 亨
  - <SIG-KBS-9203-8>「機能モデルによる化学プラントの機能構造のPFDからの自動抽出」  
 秦 俊、富田重幸、大島榮次
- <言語・音声理解と対話処理研究会>
  - <SIG-SLUD-9201-1>「音声対話システムにおける未知語の扱い」 伊藤克亘、速水 悟、田中穂積
- <知的教育システム研究会>

<SIG-IES-9203-4> 「対話型教材知識構築ツールに基づく因数分解ITSと教授戦略構築手法」  
松原行宏、中向井正人、長町三生

<合同研究会“AIシンポジウム'92”>

<SIG-F/H/K/S/I-9201-11> 「定性的システム同定法の提案」 安部伸治

◇全国大会（第7回）優秀論文の表彰

発表論文189編を対象に、プログラム委員会査読委員の審査を経て、下記の論文4編の著者を表彰した。

- ・論文番号 6-8 「Forking GA(fGA)の提案」 筒井茂義（阪南大）、藤本好司（シャープ）
- ・論文番号14-5 「クリティカルパスの保存によるジョブショップスケジューリングの近似解法」 原 裕貴（富士通研）
- ・論文番号16-2 「文脈制約を利用した曖昧性解消」 那須川哲哉（日本IBM）
- ・論文番号27-5 「知識の構造化に対する負荷制御を実現する説明プランニング手法」 柏原昭博、村松浩一、平嶋 宗、豊田順一（阪大）

10. 共催、協賛、後援の催し物

次のとおり催し物の共催2件、協賛87件、後援2件により、他学協会と協調して学会活動の活発化、多様化を進めた。

《共催》

◇第11回設計シンポジウム

（社）日本機械学会、（社）精密工学会、日本設計工学会、（社）人工知能学会主催（1993/6/14・15）

◇1994年情報学シンポジウム—マルチメディアと情報システム—

日本学術会議・情報学/学術文献情報/学術データ情報/情報工学各研究連絡委員会、（社）人工知能学会他8学会共催：（1994/1/12・13）

《協賛》

◇シンポジウム [手書き文字認識技法の過去・現在・未来]

（社）電子情報通信学会・手書き文字認識手法の高度化に関する研究会主催（1993/4/2）

◇講習会 [カオス理論の基礎と工学への応用]

日本ファジィ学会主催（1993/4/13）

◇第50回産業用ロボット利用技術講習会

（社）日本産業用ロボット工業会主催<東京会場>（1993/4/13・14）<名古屋会場>（1993/4/22・23）

◇第2回電力系統へのニューラルネットの応用国際フォーラム（ANNPS'93）

ANNPS'93組織委員会主催（1993/4/19～22）

◇第3回設計工学・システム部門講演会

（社）日本機械学会主催（1993/5/16・17）

◇第9回ファジィシステムシンポジウム [拓く—基礎科学への展望]

日本ファジィ学会・計算機アーキテクチャ研究会/オペレーティングシステム研究会/数値解析研究会主催（1993/5/19～21）

◇1993年並列処理シンポジウム（JSPP'93）

（社）情報処理学会・計算機アーキテクチャ研究会/オペレーティングシステム研究会/数値解析研究会/プログラミング—言語・基礎・実践—研究会/アルゴリズム研究会、（社）電子情報通信学会・コンピュータシステム研究会主催（1993/5/19～21）

◇第3回ロボットシンポジウム

（社）ロボット学会主催（1993/5/25・26）

◇日本機械学会関西支部第197回講習会 [ヴァーチャル・ファクトリー生産の未来像]

（社）日本機械学会関西支部主催（1993/5/27・28）

◇講習会「遺伝的アルゴリズムとその応用」

日本ファジィ学会主催（1993/6/1）

◇The Sixth International Conference on Industrial & Engineering Applications of Artificial Intelligence and Expert Systems

The International Society of Applied Intelligence 主催（June 1-4, 1993）

◇Computer Graphics Osaka'93

- (社) 日本能率協会主催(1993/6/9~12)
- ◇SICE夏期セミナー'93-新しい制御理論に基づく制御系設計法-  
(社) 計測自動制御学会主催(1993/6/21~24)
- ◇講習会 [人間の認知と感覚に対する理論とその応用]  
(社) 計測自動制御学会関西支部主催(1993/6/22)
- ◇セミナー [アクティブコントロールの制御理論的アプローチ]  
システム制御情報学会主催<大阪>(1993/6/23・24)<東京>(1993/7/1・2)
- ◇第12回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス  
日本シミュレーション学会主催(1993/6/23・24)
- ◇SYNAPSE'93  
(財) 千里国際情報事業財団主催(1993/6/24・25)
- ◇第5回知能ロボットコンテストJAPAN'93  
(社) 日本ロボット学会、ロボット競技会実行委員会主催(1993/6/27)
- ◇3次元画像コンファレンス'93-3-D Imaging'93-  
3次元画像コンファレンス実行委員会主催(1993/7/1・2)
- ◇平成5年度第1回ORセミナー [線型計画問題に対する内点法の基礎]  
(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会主催(1993/7/2)
- ◇第3回人工現実感とテレインテグレーション国際会議 (ICAT'93)  
(社) 日本工業技術振興協会、(社) 計測自動制御学会、(株) 日本経済新聞社主催(1993/7/6・7)
- ◇第4回インテリジェントFAシンポジウム  
システム制御情報学会主催(1993/7/7・8)
- ◇第51回産業用ロボット利用技術講習会  
(社) 日本産業用ロボット工業会主催:<東京会場>(1993/7/8・9)<大阪会場>(1993/7/15・16)
- ◇セミナー「シミュレーション技術の現状と将来」  
(社) 化学工学会関西支部主催(1993/7/9)
- ◇日本生物工学会シンポジウム  
(社) 日本生物工学会主催(1993/7/12・13)
- ◇講習会「ファジィ理論の基礎」  
日本ファジィ学会主催(1993/7/12・13)
- ◇第5回機械翻訳の理論的および方法論的問題に関する国際会議 (TMI'93)  
第5回機械翻訳の理論的および方法論的問題に関する国際会議 (TMI'93) 主催(1993/7/14~16)
- ◇第4回機械翻訳サミット  
アジア太平洋機械翻訳協会、(社) 日本電子工業振興協会主催(1993/7/19~22)
- ◇Dynamics and Design Conference 1993 -機械力学・計測制御部門最新情報交換型講演会-  
(社) 日本機械学会主催(1993/7/19~23)
- ◇講習会「デザインのためのファジィ」  
日本ファジィ学会主催(1993/7/23)
- ◇第13回バイオメカニズム・シンポジウム  
バイオメカニズム学会主催(1993/7/29~31)
- ◇第3回ファジィ論理、神経ネットワーク及びソフトコンピューティングに関する国際会議  
日本ファジィ学会、国際ファジィシステム学会、国際ニューラルネットワーク学会、日本神経回路学会、(財) ファジィシカテム研究所主催(1993/8/1~7)
- ◇第2回アドバンスドメカトロニクス国際会議 (ICAM'93)  
(社) 日本機械学会主催(1993/8/2~4)
- ◇サマーセミナー「コンピュータビジョンの外観検査への応用」  
(社) 精密工学会主催(1993/8/20・21)
- ◇AI-ED93-World Conference of Artificial Intelligence in Education  
Association for the Advancement of Computing in Education (AACE) 主催(23rd-27th August 1993)
- ◇1994年度自動車ナビゲーション・情報システム会議 (VNIS'94)  
IEEE Vehicular Technology Society、IEEE東京支部、(社) 電気学会、(社) 自動車技術会主催:  
(1993/8/31~9/2)
- ◇IUMRS-ICAM-93 (第3回IUMRS先進材料国際会議)  
第3回IUMRS先進材料国際会議組織委員会、日本MRS、IUMRS (International Union of  
Material Research Societies)、日刊工業新聞社主催(1993/8/31~9/4)

- ◇SICEセミナー—適応制御—  
(社)精密工学会主催(1993/9/6・7)
- ◇システム制御情報イブニングスクールチュートリアル講座「アドバンスト制御の基礎」  
システム制御学会主催(1993/9/7・10・14・21・24)
- ◇平成5年度第2回ORセミナー「離散系シミュレーション」  
(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会主催(1993/9/10)
- ◇ASPシンポジウム  
システム制御情報学会主催(1993/9/16・17)
- ◇講習会「カオス理論の基礎と工学への応用」  
日本ファジィ学会主催(1993/9/28)
- ◇セミナー「遺伝アルゴリズム/ニューラルネット/ファジィの新しい展開を探る」  
システム制御情報学会主催：<大阪> (1993/9/29・30) <東京> (1993/10/5・6)
- ◇IJCNN'93-Nagoya—International Joint Conference on Neural Networks—  
日本神経回路学会、(社)電子情報通信学会、(社)計測自動制御学会主催(1993/10)
- ◇'93 視覚と空間認知への総合的アプローチシンポジウム  
(株)けいはんな主催(1993/10/7・8)
- ◇INTERMAC'93 SICEシンポジウム in 晴海  
(社)計測自動制御学会主催：(1993/10/12~15)
- ◇講習会「機械の知能化技術のわかりやすい理論と実際例」  
(社)日本機械学会主催：(1993/10/14・15)
- ◇第14回バイオメカニズム学術講演会  
バイオメカニズム学会主催(1993/10/18・19)
- ◇第9回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム  
(社)計測自動制御学会主催(1993/10/18~20)
- ◇第12回技術発表会  
(特)情報処理振興事業協会主催(1993/10/21・22)
- ◇第1回人工物工学国際シンポジウム  
東京大学人工物工学研究センター主催(1993/10/26~28)
- ◇第10回色彩工学コンファレンス  
光学四学会(照明学会、日本色彩学会、日本写真学会、応用物理学会日本光学会)主催(1993/10/26~28)
- ◇第36回自動制御連合講演会  
(社)計測自動制御学会、システム制御情報学会、(社)化学工学会、(社)精密工学会、(社)日本機械学会、日本ファジィ学会主催(1993/10/27~29)
- ◇シンポジウム「生命、そして人工生命の可能性」  
創成科学フォーラム主催(1993/10/29)
- ◇'93国際先端ロボット技術会議  
(社)日本産業用ロボット工業会主催(1993/11/1・2)
- ◇第2回IEEE国際ワークショップ「ロボットと人とのコミュニケーション」  
2nd IEEE International Workshop on Robot and Human Communication RO-MAN'93 IEEE-Industrial Electronics Society 主催(1993/11/3~5)
- ◇第24回国際産業用ロボットシンポジウム  
(社)日本産業用ロボット工業会主催(1993/11/4~6)
- ◇SICEセミナー現代制御理論(初級)  
(社)計測自動制御学会主催(1993/11/9・10)
- ◇平成5年度第2回AI講座  
東京電機大学主催(1993/11/9~12/14)
- ◇講習会「Artificial Life(人工生命)」  
日本ファジィ学会、(社)日本ロボット学会主催(1993/11/10・11)
- ◇国際シンポジウム「インフォテック'93」  
大阪府、大阪市、(財)関西情報センター主催(1993/11/10~12)
- ◇音声対話国際シンポジウム  
INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON SPOKEN DIALOGUE - New Directions in Human and Man-Machine Communication  
早稲田大学主催(November 10-12, 1993)
- ◇講習会「こんなところにも使えるファジィ え~!!」

日本ファジィ学会主催 (1993/11/12)

- ◇第11回日本ロボット学会学術講演会  
(社) ロボット学会主催(1993/11/12~14)
  - ◇国際ヒトゲノム会議 93 (HGM' 93)  
HGM' 93 組織委員会主催(1993/11/14~17)
  - ◇第8回生体・生理工学シンポジウム  
(社) 計測自動制御学会主催(1993/11/16~18)
  - ◇Asian Conference on Computer Vision (ACCV' 93)  
(社) 電子情報通信学会/パターン認識・理解研究会主催(1993/11/23~25)
  - ◇[知識のリフォーメーション] シンポジウム  
(社) 情報処理学会人工知能研究会主催(1993/11/25・26)
  - ◇セミナー「健康と環境ビジネスにおける先端センシング技術」  
センシング技術応用研究会、(社) 大阪府技術協会主催 (1993/11/26)
  - ◇生産スケジューリングシンポジウム  
(社) 日本機械学会主催 (1993/12/1)
  - ◇大規模知識ベースの構築と共有に関する国際会議 1993  
(財) 日本情報処理開発協会主催(1993/12/1・2)
  - ◇第25回産業用ロボット利用技術講習会  
(社) 日本産業用ロボット工業会主催<東京> (1993/12/2・3) <大阪> (1993/12/9・10)
  - ◇特別シンポジウム「人工生命科学特選講座・人工生命と自律ロボット」  
(財) 千里国際情報事業財団、日本経済新聞社主催 (1993/12/6)
  - ◇先端技術フォーラム「21世紀の情報社会を拓くコンピュータ・テクノロジー」  
(社) 精密工学会主催： (1993/12/10)
  - ◇The 2nd World Congress on Expert Systems : WCES' 94  
AAAI The International Association of Knowledge Engineers, IEEE Technical Committee on Expert Systems Applications、(社) ロボット学会主催(1994/1/10~14)
  - ◇平成5年度第1回シンポジウム「情報の価値とネットワーク」  
経営情報学会主催 (1994/1/16)
  - ◇SICEセミナー現代制御理論(中級)  
(社) 計測自動制御学会主催 (1994/1/18・19)
  - ◇第43回講習会「多次元画像計測と物体認識」  
システム制御情報学会主催<大阪> (1994/1/18・19) <東京> (1994/2/1・2)
  - ◇講習会「応用のためのファジィ理論の基礎」  
日本ファジィ学会主催 (1994/1/20・21)
  - ◇'94 FRIEND 21 国際シンポジウム  
(財) パーソナル情報環境協会主催 (1994/2/2~4)
  - ◇システム制御情報オープンングスクールチュートリアル講座「デジタル制御理論入門」  
システム制御情報学会主催 (1994/3/1・4・8・11・15)
  - ◇産業用ロボット・フィルムフェスティバル  
(社) 日本産業用ロボット工業会主催：<東京> (1994/3/4) <大阪> (1994/3/11)
  - ◇IISF 国際シンポジウム「コンピュータと人間の共生」  
IISF 国際シンポジウム委員会、(財) 情報科学国際交流財団主催 (1994/3/7~9)
  - ◇講習会「ファジィ&ソフト・コンピューティングー柔らかな情報処理システム構築技術と実践的応用ー」  
日本ファジィ学会主催 (1994/3/8)
  - ◇第4回ロボットセンサシンポジウム  
(社) 日本機械学会、(社) 日本ロボット学会、(社) 計測自動制御学会主催 (1994/3/17・18)
  - ◇第19回知能システムシンポジウム  
(社) 計測自動制御学会主催 (1994/3/23・24)
  - ◇INTERNATIONAL CONFERENCE ON EXPERT SYSTEMS FOR DEVELOPMENT  
Asian Institute of Technology 主催(1994/3/28~31)
- 《後 援》
- ◇音声対話理解シンポジウム  
文部省科学研究補助金重点領域研究「音声対話」総括班主催 (1993/11/13)
  - ◇アジア学術会議  
日本学術会議主催 (1993/11/15~18)

## 11. 会 議

### ◇第8回通常総会

6月16日(水)に全国大会会場の中央大学後楽園キャンパス・理工学部校舎5号館(東京・後楽園)で開催、出席者743名(委任状を含む)、1992年度事業報告、1993年度事業計画などの議案審議、決裁、引き続き1992年度学会論文賞および1993年度全国大会(第7回)優秀論文の表彰を行った。

### ◇理事会

8月を除く各月に計11回開催した。

### ◇1993年度評議員会

定例会議を6月16日(水)に開催、当日出席42名、総会議題、学会運営について審議を行った。

### ◇委員会

5月度第75回理事会で、エルゼビア社刊JAI(Journal of Artificial Intelligence)誌特集号掲載の会誌論文選考を進めるためのJAI選考委員会の発足、また6月度第76回理事会で、学会運営の改善を図るため、国際委員会の廃止と渉外委員会、研究集会審議委員会の発足がそれぞれ承認された。

編集、研究会運営、企画、研究集会審議、JAI選考、渉外、広報、財務、総務の各委員会ならびに1993年度全国大会(第7回)の大会委員会および同プログラム委員会、1994年度全国大会(第8回)開催準備のため設置された大会委員会および同プログラム委員会、ALT'93各委員会、IJCAI'97準備委員会、本委員会および実行委員会がそれぞれ随時開催された。

## 12. 規程など制定・改正・廃止、契約締結、覚書交換、認可など

◇下記のとおり規程など制定・改正・廃止が行われた。

・ J A I 選考委員会規程	1993年5月28日制定
・ 国際委員会規程	6月16日廃止
・ 渉外委員会規程	6月16日制定
・ 研究集会審議委員会規程	6月16日制定
・ 会員の発議による研究集会等開催に関する規程	6月16日制定
・ 理事会規程	1994年3月22日改正
・ 事務局職員に関する就業規則	1994年3月22日改正

◇社団法人人工知能学会・新役員登記(1993/7/27)

◇全国大会運営業務委託の覚書交換(1994/2/22)<(株)連企画研究事務所>

1994年度全国大会(第8回)の準備着手に際し、運営事務を(株)連企画研究事務所に委託することとし、大会事務局(東京都港区浜松町2-12-14、第2日化ビル3階)を設けた。

以 上

## 個人会員の除名処分について

[会費の徴収および学会機関誌の配布に関する細則] にもとづき、90年度会費および91年度会費未納、その他による下記の個人会員151名を、1993年度末をもって除名いたします。

・86年度入会	正会員	40名
	学生会員	4名
	小計	44名
・87年度入会	正会員	26名
	学生会員	3名
	小計	29名
・88年度入会	正会員	22名
	学生会員	4名
	小計	26名
・89年度入会	正会員	17名
	学生会員	11名
	小計	28名
・90年度入会	正会員	11名
	学生会員	5名
	小計	16名
・91年度入会	正会員	5名
	学生会員	3名
	小計	8名
・総計	正会員	121名
	学生会員	30名
	合計	151名

以上

# (社) 人工知能学会 1993年度決算報告書

<1993年4月1日~1994年3月31日>

## 貸借対照表

(1994年3月31日)

### 1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	
(1) 現金預金	77,372,317
現金	(35,668)
預金	(11,336,649)
定期預金	(66,000,000)
(2) 未収金	13,482,781
(3) 担保金	777,000
(4) 貸出金	3,000,000
流動資産計	[94,632,098]
2. 固定資産	
(1) 入居保証金	4,344,000
(2) 電話架設料	220,584
その他の固定資産計	[4,564,584]
資 産 合 計	99,196,682

### 2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	
(1) 前納金	16,229,500
(2) 未払い金	5,891,078
流動負債計	[22,120,578]
2. 固定負債	
(1) 国際会議積立金	18,500,000
(2) A L T 積立金	1,505,946
(3) J K A W 積立金	722,000
(4) 退職金引当金	2,448,787
(3) 会費未納分除却引当金	857,000
(4) 事務所整備積立金	1,900,000
固定負債計	[25,933,733]
負 債 合 計	48,054,311

### 3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	
(1) 基本財産	35,000,000
基本財産計	[35,000,000]
2. 剰余金	
(1) 次期繰越収支差額	16,142,371
剰余金計	[16,142,371]
正 味 財 産 合 計	51,142,371
負債および正味財産合計	99,196,682



# 財産目録

(1994年3月31日)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 流動資産	
(1) 現金預金 77,372,317	
イ) 現金	
現金手持ち有り高	35,668
ロ) 普通預金	
第一勧業銀行北沢支店 (代表幹事口座)	586,519
第一勧業銀行飯田橋支店 (会長口座)	7,714,781
郵便貯金 (会長口座)	404,681
三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	850,769
第一勧業銀行北沢支店 (事務局長口座)	155,091
ハ) 振替貯金	
東京振替貯金局	1,624,808
ニ) 定期預金	
第一勧業銀行飯田橋支店	35,000,000
三菱銀行神楽坂支店	14,000,000
三菱銀行神楽坂支店	15,000,000
定額郵便貯金	2,000,000
(2) 未収金 13,482,781	
イ) 会 費	8,385,634
ロ) 会誌別刷り	3,098,821
ハ) 会誌印税	167,760
ニ) 会誌広告料	347,040
ホ) 研究会登録料	738,000
ヘ) 研究会別刷り料	181,000
ト) NACSISデータ作成料	525,526
チ) 郵送料他立替金	39,000
(3) 担保金	
イ) 郵便物受取人払い担保金	777,000
(4) 貸出金	
イ) 全国大会運営費	2,000,000
ロ) I J C A I ' 9 7 運営費	1,000,000
2. 固定資産	
(1) 入居保証金	4,344,000
(2) 電話架設料	220,584
資 産 合 計	99,196,682

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 流動負債	
(1) 前納金	
イ) 94年度会費	15,073,000
ロ) 研究会登録料	1,156,500
(2) 未払金	
イ) 会誌発行費	5,487,871
ロ) 会誌別刷り印刷費	403,207
2. 固定負債	
イ) 国際会議積立金	18,500,000
ロ) A L T 積立金	1,505,946
ハ) J K A W 積立金	722,000
ニ) 退職金引当金	2,448,787
ホ) 会費未納分除却引当金	857,000
ヘ) 事務所整備積立金	1,900,000
負 債 合 計	48,054,311
正 味 財 産	51,142,371

# [ 1 ] 収支計算の部

(自1993年4月1日~至1994年3月31日)

## 1) 収入の部

科 目	予 算 額	実 算 額	差 引 額
基本財産運用	1,347,000	1,347,500	500
入会金収入	550,000	478,000	▲72,000
正会員入会金	440,000	320,000	▲120,000
学生会員入会金	110,000	158,000	48,000
会費収入	58,553,000	59,184,000	631,000
正会員会費	36,560,000	37,160,000	600,000
学生会員会費	1,688,000	1,824,000	136,000
賛助会員会費	18,880,000	18,640,000	▲240,000
特殊購読会員会費	1,425,000	1,560,000	135,000
事業収入	33,237,000	41,771,411	8,534,411
会誌別冊料	9,180,000	11,934,750	2,754,750
会誌印税	1,089,000	1,062,480	▲26,520
全国大会参加費 他	9,620,000	9,774,630	154,630
セミナー参加費	3,600,000	4,370,000	770,000
関西特別ソブ'ジ'ラム参加費	0	1,720,772	1,720,772
会誌など頒布代	610,000	1,270,400	660,400
研究会登録料、他	6,038,000	6,089,000	51,000
国内7-ショップ'ALT' 93	2,850,000	3,872,649	1,022,649
その他	250,000	1,676,730	1,426,730
雑収入	3,215,000	2,662,863	▲552,137
会誌広告料	2,205,000	1,708,770	▲496,230
郵送料 他	60,000	80,000	20,000
受取利息	950,000	874,093	▲75,907
積立金取崩し収入	0	0	0
会費未納分除却引当金	0	0	0
当期収入合計	96,902,000	105,443,774	8,541,774
前期繰越収支差額	7,600,141	7,600,141	0
収入合計	104,502,141	113,043,915	8,541,774

## 2) 支出の部

科 目	予 算 額	実 算 額	差 引 額
事業費	56,145,000	57,181,279	1,036,279
会誌発行費	31,539,000	33,224,665	1,685,665
会誌別刷印刷費	2,592,000	2,299,451	▲292,549
会誌執筆謝礼	512,000	485,971	▲26,029
会誌発行諸経費	1,400,000	1,314,280	▲85,720
全国大会開催費	8,620,000	8,641,110	21,110
セミナー開催費	2,368,000	2,247,939	▲120,061
関西特別ソングウム開催費	0	222,384	222,384
研究会、他開催費	5,314,000	4,698,232	▲615,768
国内ワークショップ ALT' 93	2,850,000	3,485,731	635,731
広報活動費	300,000	100,560	▲199,440
表彰費	50,000	124,051	74,051
会議費	600,000	336,905	▲263,095
管理費	32,585,000	31,354,858	▲1,230,142
家賃	3,408,000	3,399,000	▲9,000
共益費	482,000	482,040	40
光熱費	330,000	288,430	▲41,570
リース料 他	1,260,000	1,567,892	307,892
機械修理費	40,000	67,980	27,980
什器備品費	100,000	0	▲100,000
会議費	800,000	928,908	128,908
旅費交通費	300,000	185,220	▲114,780
通信費	3,400,000	3,291,954	▲108,046
印刷費	1,400,000	1,358,773	▲41,227
消耗品費	1,800,000	1,688,868	▲111,132
倉庫管理費	450,000	463,643	13,643
給料手当等	14,800,000	14,709,954	▲90,046
臨時雇用費	1,850,000	1,085,600	▲764,400
支払い手数料	50,000	57,943	7,943
雑費	200,000	170,133	▲29,867
資料購入費	45,000	52,330	7,330
研修費	30,000	0	▲30,000
諸会費	85,000	83,600	▲1,400
OA強化費	100,000	58,195	▲41,805
会費自動引落手数料	150,000	150,122	122
保険料	5,000	3,800	▲1,200
福利厚生費	1,500,000	1,260,473	▲239,527
積立金繰入れ支出	3,500,000	2,757,946	▲742,054
国際会議積立金	1,500,000	1,500,000	0
事務所整備積立金	200,000	200,000	0
退職金引当金	300,000	800,000	500,000
会費未納除却分引当金	1,500,000	0	▲1,500,000
ALT積立金	0	257,946	257,946
会費等未納分除却支出	0	5,607,461	5,607,461
会費等未納分除却損	0	5,607,461	5,607,461
予備費	400,000	0	▲400,000
当期支出合計	92,630,000	96,901,544	4,271,544
次期繰越収支差額	11,872,141	16,142,371	4,270,230
支出合計	104,502,141	113,043,915	8,541,774

注：当期収支差額は8,542,230円である。

## [ 2 ] 正味財産増減計算の部

(自1993年4月1日～至1994年3月31日)

### 1) 増加の部

科 目	実 算 額
当期収支差額 当期増減差額	8,542,230 0
増 加 額 合 計	8,542,230

### 2) 減少の部

科 目	実 算 額
当期収支差額 当期増減差額	0 0
減 少 額 合 計	0

### 3) 合計の部

科 目	実 算 額
当期正味財産増加額 前期繰越正味財産額	8,542,230 42,600,141
期末正味財産合計額	51,142,371

# 1994年度事業計画

## 1. 運営・活動方針

定款の目的に沿って、会誌の隔月発行、全国大会（第8回）、国際会議、研究会、セミナー、講演会の開催、ワークショップなど研究活動の推進、学会論文賞、研究奨励賞および全国大会優秀論文の表彰、ならびに他学協会および海外関連団体との協調により学会活動の活発化、多様化を推進するとともに、引続き組織・基盤の強化に努めて会員サービスの充実をはかる。

研究会活動は、昨年度発足した〔並列人工知能研究会<第2種>〕を含めた6研究会でさらに活発化、充実をはかり、人工知能セミナーは昨年度と同じく4回開催する。

また、国際活動の一貫として、IJCAI'97開催に向けて本委員会を中心とした具体的準備作業、エルゼビア社刊JAI (Journal of Artificial Intelligence) 誌特集号発行のための会誌論文選考、海外における人工知能関連シンポジウム、ワークショップ開催の協賛、さらにはAAAIとの協調活動を推進する。

なお、2年後の学会設立10周年に向けて、記念事業準備委員会を発足させる。

## 2. 会誌の発行

◇第9巻第3号（通巻45号）1994年5月1日発行

小特集「人工知能技術における計算量」、解説「リアルワールドコンピューティング」、同「シミュレーテッドアニーリングの最新技術動向」、AIマップ、論文8編、他

◇第9巻第4号（通巻46号）1994年7月1日発行

小特集「Soarプロジェクト」、同「遺伝的アルゴリズム」、AIマップ、論文、他

◇第9巻第5号（通巻47号）1994年9月1日発行

小特集「並列・分散協調画像理解」、解説「人工生命の原理とその展開」、同「ビジネスモデリングと知識システム」、同「脳と情報処理（1）」、AIマップ、論文、他

◇第9巻第6号（通巻48号）1994年11月1日発行

小特集「AI研究者のためのインターネット」、同「学習の新潮流」、解説「知識モデリングにおける分析視点」、同「脳と情報処理（2）」、AIマップ、論文、他

◇第10巻第1号（通巻49号）1995年1月1日発行

特集「知識処理応用とデータベース」、同座談会、解説「定理証明系のユーザ・インタフェース」、論文、他

◇第10巻第2号（通巻50号）1995年3月1日発行

特集「コーパスに基づく音声・自然言語処理」、解説「自然言語の意味的曖昧性の解消法」、論文、他

## 3. 全国大会（第8回）の開催

期 日 1994年6月20日（月）～23日（木）

場 所 早稲田大学・国際会議場（東京・早稲田）

構 成 ・特別講演 [脳とコンピュータ=サルの脳、ヒトの脳とコンピュータ=]  
久保田 競氏（京都大学）

・招待講演 [Artificial Life: Evolution of Digital Organisms]

Dr. Thomas Ray (ATR HIP, University of Delaware)

・パネルディスカッション [記号処理とパターン処理]

・特別セッション

[実時間人工知能アルゴリズム] (研究会)

[知識の共有と再利用-オントロジーとその周辺-] (知識ベースシステム研究会)

[音声対話] (言語・音声理解と対話処理研究会)

[法律エキスパートシステムと知識表現] (応用分野)

[土木・建築におけるAIへの期待と課題] (応用分野)

[自動車と道路の知能化-安全、快適、円滑な交通の実現を目指して] (応用分野)

・一般講演 (185件)

・チュートリアル講演 (2トラック6件)

トラック I 「複数知能に向けて」

トラック II 「マルチモーダル情報処理に向けて」

#### 4. シンポジウム/ワークショップの開催

##### ◇第12回設計シンポジウム

期 日 1994年7月4日(月)・5日(火)

場 所 早稲田大学国際会議場(東京・早稲田)

共 催 (社)精密工学会<幹事学会>、(社)日本機械学会、日本設計工学会

構 成 特別講演、論文発表

##### ◇マシンインテリジェンスに関する国際ワークショップ1994

期 日 1994年9月

場 所 オックスフォード(イギリス)

共 催 Turing Institute

後 援 Daiwa Foundation

構 成 論文発表

##### ◇JKAW1994

期 日 1994年11月7日(月)~9日(水)

場 所 (株)日立製作所基礎研究所(埼玉・鳩山町)

協 賛 (社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、  
AAA I<予定>

構 成 論文発表

#### 5. 研究会の開催

昨年度第2種研究会として発足した並列人工知能研究会を含め6研究会で、それぞれ年3~4回の研究会を開催する。12月度は6研究会合同で、AIシンポジウム'94として講演、パネル討論、研究発表を行う。

##### ◇人工知能基礎論研究会(略称:SIG-FAI)

開催予定月:6月6日(月)<東京三田出版会>、10月<ATR>、12月1日(木)・2日(金)<6研究会合同/AIシンポジウム'94、東京>、3月<電総研>

<内 容>:論理、推論、学習、知識の表現と獲得、並列計算モデル、知的プログラミング、自然言語理解、パターン理解などに関する人工知能としての基礎的研究

##### ◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会(略称:SIG-HICG)

開催予定月：5月20日（金）＜テーマ：メディアとAI、北大＞、10月＜テーマ：人と人とのインタフェース支援、東京＞、12月1日（木）・2日（金）（6研究会合同/AIシンポジウム'94、東京）、2月＜テーマ：インタフェースの認知科学、京都＞

＜内容＞：ヒューマンインタフェース設計論、対話モデル、認知モデル（知覚、記憶、思考、学習、言語）、人間と機械との協調問題解決、計算機支援による応用システム（エキスパートシステム、CAD、CAI、OAなど）のヒューマンインタフェース、ヒューマンインタフェースの評価技術、ヒューマンインタフェース向きアーキテクチャ、メタファ

◇知識ベースシステム研究会（略称：SIG-KBS）

開催予定月：4月20日（金）＜東京三田出版会＞、9月＜東京＞、12月1日（木）・2日（金）＜6研究会合同/AIシンポジウム'94、東京＞、1月＜関西＞

＜内容＞：知識ベースシステム方法論（人工知能ツール、知識モデリング、知識共有・再利用など）、環境（AI言語、AI向きアーキテクチャ、AIワークステーションなど）、人工知能技法（知識表現、推論、学習、知識獲得など）、人工知能応用（エキスパートシステム、知的設計支援、ソフトウェア開発支援、知的データベース、知的制御、パターン情報処理、自然言語処理応用など）

◇言語・音声理解と対話処理研究会（略称：SIG-SLUD）

開催予定月：6月10日（金）＜奈良先端大＞、10月21日（金）＜東工大、情報処理学会と共催＞、12月1日（木）・2日（金）＜6研究会合同/AIシンポジウム'94、東京＞、2月10日（木）＜早大、チュートリアル講演併催＞

＜内容＞：音声対話モデル、自然言語理解、自然言語処理、音声処理、音声言語処理、計算言語学、確率・統計的手法応用、コミュニケーション・モデル、マルチモーダルインタフェース、マルチメディアインタフェース技術、インタラクティブ・システム、ユーザモデリング、意図理解、心理モデル、社会言語学、ソフトウェア・アーキテクチャなど

◇知的教育システム研究会（略称：SIG-IES）

開催予定月：4月23日（土）＜機械振興会館＞、8月30日（木）＜テーマ：グループ学習支援、東京＞、12月1日（木）・2日（金）＜6研究会合同/AIシンポジウム'94、東京＞、3月＜テーマ：訓練システム、地方・合宿形式＞

＜内容＞：学習者モデル、教授と学習、教育システムの要素技術（高次推論機構、認知モデル、感性・情緒モデル、マシンラーニング、対話モデル、対話技術など）、知的教育システムの設計・実現、発見的環境の構築技術、教育とメディア技術など。

《第2種研究会》

◇並列人工知能研究会（略称：SIG-PPAI）

開催予定月：4月9日（土）・10日（日）＜テーマ：人工生命特集、筑波ふれあいの里＞、9月＜東京＞、12月1日（木）・2日（金）＜6研究会合同/AIシンポジウム'94、東京＞、3月＜東京＞

＜内容＞：並列人工知能、超並列人工知能、遺伝的アルゴリズム、ニューラルネットワーク、記憶に基づく推論、並列学習、並列マシン、大規模計算

6. セミナーの開催

セミナーを年4回開催する。

## 7. 表彰

1994年発行の会誌掲載論文、ショートノート、技術資料を対象とした学会論文賞の表彰、1993年度開催の研究会発表を対象とした研究奨励賞の表彰、および全国大会（第8回）発表優秀論文の表彰を行う。

## 8. 関連学協会との共催、協賛など

昨年度に引き続き、他学協会との協調により学会活動の活発化、多様化を推進する。本学会が共催／協賛／後援する、関連学協会の本年度開催の催し物は、共催2件、協賛32件（4月1日現在）である。

## 9. 総会・評議員会・理事会・委員会

### ◇総会

通常総会（第9回）を6月22日開催。

### ◇評議員会

定例会議を通常総会開催に合わせて6月21日に開催。

### ◇理事会

毎月1回開催。（8月は休会）

### ◇委員会その他

会誌編集、研究会運営、企画、研究集会審議、JAI選考、渉外、広報、財務、総務の各委員会ならびに1994年度全国大会委員会・同プログラム委員会、1995年度全国大会（第9回）開催準備のための大会委員会・同プログラム委員会、IJCAI'97本委員会・実行委員会を随時開催。

## 10. 1994年度役員構成（案）

別紙参照

## 11. 1994年度評議員構成（案）

別紙参照

以上



# 1994年度予算書

(自1994年4月1日～至1995年3月31日)

## 1) 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
基本財産運用	770,000	1,347,000	▲577,000
入会金収入	590,000	550,000	40,000
正会員入会金	440,000	440,000	0
学生会員入会金	150,000	110,000	40,000
会費収入	55,544,000	58,553,000	▲3,009,000
正会員会費	35,530,000	36,560,000	▲1,030,000
学生会員会費	2,024,000	1,688,000	336,000
賛助会員会費	16,400,000	18,880,000	▲2,480,000
特殊購読会員会費	1,590,000	1,425,000	165,000
事業収入	34,340,000	33,237,000	1,103,000
会誌別冊料	11,016,000	9,180,000	1,836,000
会誌印税	1,008,000	1,089,000	▲91,000
全国大会参加費 他	8,920,000	9,620,000	▲700,000
セミナー参加費	3,960,000	3,600,000	360,000
会誌など頒布代	805,000	610,000	195,000
研究会登録料、他	6,281,000	6,038,000	243,000
国内ワークショップ'ALT' 93	-	2,850,000	▲2,850,000
国際ワークショップ'JKAW' 94	2,000,000	-	2,000,000
その他	350,000	250,000	100,000
雑収入	2,670,000	3,215,000	▲545,000
会誌広告料	1,260,000	2,205,000	▲945,000
郵送料 他	60,000	60,000	0
受取利息	1,350,000	950,000	400,000
当期収入合計	93,914,000	96,902,000	▲2,988,000
前期繰越収支差額	16,142,371	7,600,141	8,542,230
収入合計	110,056,371	104,502,141	5,554,230

## 2) 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
事業費	54,303,000	56,145,000	▲1,842,000
会誌発行費	31,623,000	31,539,000	84,000
会誌別刷印刷費	2,592,000	2,592,000	0
会誌執筆謝礼	510,000	512,000	▲2,000
会誌発行諸経費	1,400,000	1,400,000	0
全国大会開催費	7,770,000	8,620,000	▲850,000
セミナー開催費	2,448,000	2,368,000	80,000
研究会、他開催費	4,940,000	5,314,000	▲374,000
国内ワークショップ ALT' 93	-	2,850,000	▲2,850,000
国際ワークショップ JKAW' 94	2,000,000	-	2,000,000
広報活動費	300,000	300,000	0
表彰費	120,000	50,000	70,000
会議費	600,000	600,000	0
管理費	32,425,000	32,585,000	▲160,000
家賃	3,508,000	3,408,000	100,000
共益費	482,000	482,000	0
光熱費	330,000	330,000	0
リース料 他	1,420,000	1,260,000	160,000
機械修理費	40,000	40,000	0
什器備品費	50,000	100,000	▲50,000
会議費	950,000	800,000	150,000
旅費交通費	200,000	300,000	▲100,000
通信費	3,400,000	3,400,000	0
印刷費	1,300,000	1,400,000	▲100,000
消耗品費	1,600,000	1,800,000	▲200,000
倉庫管理費	450,000	450,000	0
給料手当等	15,060,000	14,800,000	260,000
臨時雇用費	1,500,000	1,850,000	▲350,000
支払い手数料	50,000	50,000	0
雑費	200,000	200,000	0
資料購入費	25,000	45,000	▲20,000
研修費	20,000	30,000	▲10,000
諸会費	85,000	85,000	0
O A 強化費	100,000	100,000	0
会費引落手数料	100,000	150,000	▲50,000
保険料	5,000	5,000	0
福利厚生費	1,550,000	1,500,000	50,000
積立金繰入れ支出	3,500,000	3,500,000	0
国際会議積立金	1,500,000	1,500,000	0
事務所整備積立金	200,000	200,000	0
退職金引当金	300,000	300,000	0
会費未納除却分引当金	1,500,000	1,500,000	0
予備費	400,000	400,000	0
当期支出合計	90,628,000	92,630,000	▲2,002,000
次期繰越収支差額	19,428,371	11,872,141	7,556,230
支出合計	110,056,371	104,502,141	5,554,230

注：当期収支差額は3,286,000円である。

## 名誉会員推薦について

本学会定款第3章第6条にもとづき、人工知能分野の学問的研究の促進ならびに本学会の運営、事業活動の発展に著しく寄与されました 志村正道氏を本学会名誉会員に推薦いたします。

◇志村 正道 氏 現職 東京工業大学工学部教授

略歴 1965年3月 東京大学大学院博士課程応用物理学専攻終了

同年 4月 大阪大学基礎工学部電気工学科講師

1967年4月 同助教授

1976年4月 東京工業大学工学部情報工学科助教授

1981年4月 同教授

1974年 国際パターン認識学会賞受賞

1977年 手島記念賞受賞

工学博士

本学会理事，副会長，会長を歴任。

以上

# 社団法人人工知能学会1994年度役員構成(案)

会 長	堂下 修司	京都大学工学部情報工学教室/教授	(新任)
副会長	佐藤 繁	(株)富士通研究所/常務取締役	(留任)
副会長	田中 英彦	東京大学工学部電気工学科/教授	(新任)
理 事	飯沼 一元	日本電気(株)/研究開発技術本部長	(留任)
理 事	上林 憲行	富士ゼロックス(株)システム技術研究所/主幹研究員	(新任)
理 事	河田 勉	(株)東芝研究開発センター/企画担当部長	(新任)
理 事	樽松 明	電気通信大学電気通信学部電子工学科/教授	(新任)
理 事	小林 重信	東京工業大学総合理工学研究科/教授	(留任)
理 事	庄子 幹雄	鹿島建設(株)/取締役情報システム部長	(留任)
理 事	白井 克彦	早稲田大学理工学部電気工学科/教授	(新任)
理 事	白井 良明	大阪大学工学部電子制御機械工学科/教授	(留任)
理 事	諏訪 基	電子技術総合研究所/情報科学部長	(新任)
理 事	高橋 栄	(株)日立製作所/システム開発研究所副所長	(留任)
理 事	土居 範久	慶応義塾大学理工学部電気工学科/教授	(新任)
理 事	中野 宣邦	新日本製鐵(株)エレクトロニクス研究所/電子システム研究部長	(新任)
理 事	羽下雄之輔	沖電気工業(株)研究開発本部/マルチメディア研究所長	(新任)
理 事	廣田 幸嗣	日産自動車(株)総合研究所/電子研究所長	(留任)
理 事	村岡 洋一	早稲田大学理工学部情報学科/教授	(留任)
理 事	山崎 正人	松下電器産業(株)東京情報システム研究所/統合システム部参事	(留任)
理 事	和佐野哲男	日本電信電話(株)情報通信網研究所/基本アーキテクチャ研究部長	(留任)
監 事	磯本 能彬	東京電力(株)技術開発本部/部長	(留任)
監 事	田中千代治	三菱電機(株)/情報システム研究所参与	(新任)
◇			
顧 問	福村 晃夫	中京大学情報科学部情報科学科/教授・学部長	(留任)
顧 問	大須賀節雄	東京大学先端科学技術研究センター/教授・センター長	(留任)
顧 問	辻 三郎	大阪大学基礎工学部/教授	(留任)
顧 問	志村 正道	東京工業大学工学部情報工学科/教授	(新任)

(理事は五十音順)

# 1993年度末退任役員

会 長	志村 正道	東京工業大学工学部情報工学科／教授
理 事	稲垣 康善	名古屋大学工学部情報工学科／教授
理 事	北橋 忠宏	大阪大学産業科学研究所／教授
理 事	棚橋 純一	(株)富士通研究所／取締役パーソナルシステム研究所副所長
理 事	田村浩一郎	電子技術総合研究所／次長
理 事	遠山 一郎	新日本製鐵(株)エレクトロニクス研究所／副所長
理 事	房岡 璋	立命館大学理工学部情報学科／教授
理 事	溝口 文雄	東京理科大学理工学部経営工学科／教授
理 事	南 正名	(株)東芝／情報・通信システム研究所長
監 事	山本 正隆	沖電気工業(株)情報通信機器事業本部／常務取締役本部長



顧問 榎本 肇 芝浦工業大学工学部工業経営学科／教授

# 樹法人工知能学会1994年度評議員構成(案)

大学関係	30名
国立・公的機関関係	5名
企業関係	33名
合 計	68名

浅川 和雄	(株)富士通研究所知識処理研究部	(新任)
阿部 圭一	静岡大学工学部情報知識工学科	(新任)
雨宮 真人	九州大学大学院総合理工学研究科	(留任)
池田 克夫	京都大学工学部情報工学教室	(留任)
石井 義則	日本デジタルイクイップメント(株)研究開発センター国際システム開発部	(留任)
石川 幹人	松下電器産業(株)東京情報システム研究所技術開発部	(新任)
石田 亨	京都大学工学部情報工学教室	(新任)
石塚 満	東京大学工学部電子情報工学科	(留任)
石原孝一郎	拓殖大学工学部情報工学科	(留任)
磯辺 寛	(株)日立製作所システム開発研究所第2部	(留任)
伊藤 英則	名古屋工業大学知能情報システム学科	(留任)
稲垣 康善	名古屋大学工学部情報工学科	(新任)
岩井 正三	三菱原子力工業(株)テクノ・システム部	(留任)
宇佐見仁英	富士通(株)システム事業推進本部計算科学研究センター第二研究部	(留任)
内田 俊一	(財)新世代コンピュータ技術開発機構	(新任)
江連 久	(株)東芝重電技術研究所システム技術開発部	(留任)
大槻 説乎	九州工業大学情報工学部知能情報工学科	(留任)
岡田 直之	九州工業大学情報工学部知能情報工学科	(新任)
河岡 司	日本電信電話(株)コミュニケーション科学研究所	(留任)
北橋 忠宏	大阪大学産業科学研究所	(新任)
木下 哲男	沖電気工業(株)マルチメディア研究所知識情報処理研究部	(新任)
空閑 繁起	シャープ(株)情報技術研究所第一研究部	(新任)
國藤 進	北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科	(新任)
河野 毅	(株)東芝研究開発センターシステム・ソフトウェア生産技術研究所	(留任)
小西 正躬	(株)神戸製鋼所電子技術研究所	(留任)
小山 照夫	学術情報センター研究開発部	(留任)
後藤 敏	日本電気(株)情報メディア研究所	(留任)
後藤 滋樹	日本電信電話(株)ソフトウェア研究所ソフトウェア基礎技術研究部	(留任)
坂部 俊樹	名古屋大学工学部情報工学科	(留任)
佐藤 泰介	電子技術総合研究所知能情報部推論研究室	(留任)
白鳥 則郎	東北大学電気通信研究所	(新任)

関根 史麿	花王(株)情報事業本部	(新任)
高木 朗	(株)CSK技術開発本部自然言語研究室	(留任)
高橋 理一	(株)豊田中央研究所	(新任)
田中 謙	北海道大学工学部電気工学科	(留任)
田村浩一郎	電子技術総合研究所	(新任)
大力 修	新日本製鐵(株)エレクトロニクス研究所電子システム研究部	(再任)
辻 秀一	三菱電機(株)情報システム研究所システム技術開発部	(留任)
寺野 隆雄	筑波大学経営システム科学専攻	(新任)
戸沢 義夫	日本IBM(株)ITコンサルティング事業部	(新任)
中筋 俊輔	第一勧業銀行システム部	(留任)
中村孝太郎	日本たばこ産業(株)友部工場	(留任)
西尾章治郎	大阪大学工学部情報システム工学科	(新任)
八賀 明	(財)鉄道総合技術研究所輸送・情報研究部	(留任)
橋本 和夫	国際電信電話(株)研究所網管理グループ	(新任)
早馬 修	(株)野村総合研究所IT研究センター	(留任)
原口 誠	東京工業大学大学院総合理工学研究科	(新任)
坂内 広蔵	(財)電力中央研究所情報研究所情報科学部	(新任)
淵 一博	東京大学工学部電子情報工学科	(留任)
古川 康一	慶応義塾大学環境情報学部	(留任)
堀 浩一	東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻	(新任)
牧之内顕文	九州大学工学部情報工学科	(新任)
増居 庄一	(株)日立製作所システム開発研究所企画室	(新任)
増田 功	セコム(株)IS研究所パターン情報処理研究部	(再任)
松田 元男	鹿島建設(株)経営戦略室R&Dプロジェクト室	(留任)
松本 裕治	奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科	(新任)
松山 隆司	岡山大学工学部情報工学科	(新任)
三上 市蔵	関西大学工学部土木工学科	(留任)
溝口 文雄	東京理科大学理工学部経営工学科	(新任)
溝口理一郎	大阪大学産業科学研究所	(留任)
南 正名	(株)東芝情報・通信システム研究所	(新任)
三宅なほみ	中京大学情報科学部認知科学科	(新任)
宮原 是中	三井東圧化学(株)生産本部	(留任)
柳生 孝昭	日本ユニシス(株)	(留任)
山崎 英蔵	(株)三菱総合研究所	(留任)
淀川 英司	工学院大学電子工学科	(新任)
米山 正秀	(株)リコー情報通信研究所	(留任)
渡辺 正信	日本電気(株)C&Cシステム研究所ソフトウェア研究部	(再任)

<五十音順>

# 1993年度末退任評議員

- |       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 有川 節夫 | 九州大学理学部基礎情報学研究施設              |
| 飯田 仁  | (株)ATR音声翻訳通信研究所言語処理研究室        |
| 伊藤 公俊 | 東京工業大学総合理工学研究科                |
| 上野 晴樹 | 東京電機大学理工学部経営工学科               |
| 浦野 義頼 | 国際電信電話(株)研究所                  |
| 大崎 幹雄 | シャープ(株)情報技術研究所                |
| 小野 欽司 | 学術情報センター研究開発部                 |
| 岸 則正  | 日産自動車(株)総合研究所基礎研究所            |
| 岸 義樹  | 茨城大学工学部情報工学科                  |
| 小泉 寿男 | 三菱電機(株)技術本部                   |
| 香田 正人 | 日本アイ・ピー・エム(株)東京基礎研究所          |
| 坂間 保雄 | 日本電信電話(株)情報通信網研究所メッセージシステム研究部 |
| 佐々木浩二 | (株)アドイン研究所                    |
| 下村 尚久 | (株)東芝                         |
| 白井 克彦 | 早稲田大学理工学部電気工学科                |
| 鈴木 道夫 | (財)電力中央研究所経済研究所情報システム部知識処理研究室 |
| 諏訪 基  | 電子技術総合研究所情報科学部                |
| 田中 英彦 | 東京大学工学部電気工学科                  |
| 田中 穂積 | 東京工業大学工学部情報工学科                |
| 田町 常夫 | 福岡工業大学工学部通信工学科                |
| 塚田 啓一 | 松下電器産業(株)東京通信システム研究所          |
| 戸田 正直 | 中京大学情報科学部認知科学科                |
| 豊田 順一 | 大阪大学産業科学研究所                   |
| 鳥脇純一郎 | 名古屋大学工学部情報工学科                 |
| 西田 豊明 | 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科          |
| 羽下雄之輔 | 沖電気工業(株)研究開発本部マルチメディア研究所      |
| 原 潔   | 日本ユニシス(株)知識システム部              |
| 美濃 順亮 | (株)花王知識・情報科学研究所               |
| 元田 浩  | (株)日立製作所基礎研究所                 |
| 山口 高平 | 静岡大学工学部情報知識工学科                |

以上



© 1994

社団法人 人工知能学会

J S A I ( Japanese Society for Artificial Intelligence )  
OS Bldg. 402, 4-7 Tsukudomachi, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan  
TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402

---

1994年度第9回通常総会資料

---

発行日：1994年6月22日

発行所：社団法人 人工知能学会

〒162 東京都新宿区津久戸町4-7 OSビル402  
TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402

印刷所：(有)三広印刷

〒107 東京都港区赤坂2-19-5 内田ビル2F  
TEL. 03-3584-5348 FAX. 03-3505-4688